

受賞団体紹介



一般社団法人 Ponteとやま(富山県)

〒939-1406 富山県砺波市宮森303
[TEL] 0763-77-3733 [E-mail] miyanomori.ponte@gmail.com
[代表者] 水野薫(代表理事) [担当者] 加藤愛理子(理事) [HP] https://ponte-toyama.com

活動テーマ ごちゃまぜの中で育つ～つながる・まなぶ

活動概要

自宅の庭に建てたカフェを拠点に、不登校・発達凸凹の有無・健常を問わず、あらゆる子どもたちが、大人も交えた「ごちゃまぜ」の空間で交流しながら学び、元気になる活動です。子どもの居場所活動「フリースタイルスクール」や臨床美術のほか、園芸療法プログラム、自然体験、運動教室などを展開。子どもたちは活動を通して居場所や役割を見つけ、楽しみながら自信や主体性を育てています。



「キッズカフェ」では、小中学生がカフェの仕事を経験。真剣な表情でお水係に挑戦中です。

参加者の声

「キッズカフェ」は、レストランなどの接客業の体験にもなと思います。(中学1年生)



色々な個性を持った人たちが集まって良い雰囲気を作っているカフェだと思う。(中学1年生)

へびと遊んで、お話を聞いて、意外と知らない日本の生き物についてよくわかって楽しかったです。(小学6年生)

とっても楽しかったらしく、ダッチオープンのかき揚げの作り方を忘れないうちに宿題の日記に書いていました！(小学2年生の母)

審査講評

誰でも簡単に居場所づくりが始められることを示した好事例と言えます。大人たちも肩の力を抜いて楽しんでいて、「ごちゃまぜ」の多様性が新たな出会いや気づきを生み出しながら、子どもたちの自己有用感や社交性が育まれている点が高く評価されました。



勉強も休憩もOK！「フリースタイルスクール」では個性もベースも尊重し合っています。



園芸療法プログラムでは、花や野菜の植えつけや収穫、調理、工作を体験。「大根とれたよー！」



沼辺笑楽寿来(宮城県)

〒989-1321 宮城県柴田郡村田町大字沼辺字寄井89-2
[TEL] 0224-53-9069 [E-mail] murata-syakyou@guitar.ocn.ne.jp
[代表者] 渡辺 安光(会長) [担当者] 根元 健一(村田町社会福祉協議会) [HP] なし

活動テーマ 地域の元気は、地域の子どもの笑顔…

活動概要

小学校というフィールドの中で地域住民と子どもたちが交流する機会が減り、地域と学校が遠い存在になりつつあった時に、「地域住民から学校へ飛び込んでみよう」と始まった「福祉教育」活動です。学年ごとに年間行事を設定し、地域住民と子どもたちが共に活動を展開します。地域住民のところに触れる活動は、子どもたちのこころの成長につながっています。



3年生は「昔の生活を知る」がテーマ。昔の遊び「カンコ馬」を体験しました。

参加者の声

お米はできるまでとても大変だということがわかりました。米づくりの活動を通して、自分も農業をやってみたいと思うようになりました。(小学5年生)



竹馬はとても楽しいし、今の竹馬より昔の竹馬のほうが乗りやすいと思いました。「転ぶからひもをしっかりつかまないとダメだ」と教えてもらいました。(小学3年生)

しょうがくじゅくのみなさんと「じゃがいもほり」をしました。なれてないから大へんだったけど、みなさんに教えてもらっていっぱいしゅうかくできました。(小学2年生)

しょうがくじゅくのみなさんが、やさしくいろいろなことをおしえてくれてうれしかったです。いっぱい「おいも」がとれてうれしかったです。(小学1年生)



2年生の「七夕を祝おう」。子どもたちが飾りを作り、地域住民が竹や藁で作った馬を準備します。



昔の道具「千歯こき」を使う脱穀作業。5年生は5月に田植え、9月に稲刈り、脱穀作業を行います。

審査講評

自然と声をかけあうようなご近所付き合いが希薄になっている昨今、昔ながらの地域のつながりを深めています。「地域で子どもを育てる」ことが実践されており、お年寄りとの交流の中で子どもたちは思いやりの心や郷土愛を育てている点が高評価を得ました。



認定NPO法人 ミニシティ・プラス(神奈川県)

〒224-0001 神奈川県横浜市都筑区中川1-17-22ガーデンプラザ宮台402
[TEL] 090-5405-5149 [E-mail] minicityplus@gmail.com
[代表者] 三輪 律江(理事長) [担当者] 岩室 晶子(事務局長) [HP] http://minicity-plus.jp/

活動テーマ 子ども目線で地域取材し、地域を育む「ジュニア編集局」活動

活動概要

子ども目線で地域の企業や商店、地域活動、イベントなどを取材し、発信する「ジュニア編集局」活動を、横浜市の都筑(13年目)とみなとみらい(4年目)で行っています。公募で集まった小学4年生から高校生までの異年齢の子どもたちが、主体的に編集会議を行い、取材して記事を書きます。取材を通して、地域の大人と交流し、地域に愛着を持つ市民を育てる活動です。



横浜駅から元町・中華街駅までを結ぶ横浜高速鉄道、みなとみらい線の裏側を熱心に取材する子どもたち。

参加者の声

ジュニア記者に参加して、学校で発表することが得意になった。いろいろな職業があると知ることができた。(小学6年生)



子ども主体のブレインストーミングや子どもとして会議を進行すること、すべてが楽しかった。社会で必要とされる実務的なスキルを無意識のうちに学んだ。(大学2年生OB)

取材でさまざまな施設の裏側を見たり、バリアフリーマップを作ったりする活動は、SDGsの住み続けられるまちづくりを、という目標につながっていると思う。(小学6年生)

取材先の方とのやりとりだけでなく、NPOの大人や大学生たちとの交流が子どもの「自信」を育ててくれた。(保護者)

審査講評

紙面づくりを通してさまざまな分野の大人と触れ合うことで、子どもたちにコミュニケーション能力や自己表現力、好奇心、探求心が養われている。また、地元の大学研究室に加え、区役所、新聞社、販売店などいろいろな立場の人たちが関わっていることも高評価となったポイントです。



特定非営利活動法人 インフィーニティー(長崎県)

〒850-0843 長崎県長崎市常盤町1-1 メットライフ生命長崎ビル
[TEL] 095-822-8161 [E-mail] civichall8@kvd.biglobe.ne.jp
[代表者/担当者] 野口美砂子(理事長) [HP] http://civichall.jp/

活動テーマ こどものこどもによるこどものためのまち

活動概要

仕事をして給料をもらい、税金を納め、稼いだお金で買い物をするなど、社会の仕組みを学べる「こどものまち」を年に数回、17年継続して開催。企画・運営を担う小学5年生から中学生のスタッフは、自分たちで講師を依頼して政治・経済・税金を学ぶほか、インターシップなどを経験してまちづくりに生かしています。日曜ごとの準備活動は居場所にもなり、協調性や自己有用感が育まれています。



毎週日曜日に企画会議を実施。さまざまな事情を抱える子どもたちの居場所にもなっています。

参加者の声

税金や社会の仕組みを学び、積極的な先輩方の姿を見られてよかったです。何より、スタッフの活動は楽しい。(中学2年生)



力を合わせてやりたいことを形にする楽しさを学びました。信頼できる家族のような仲間に出会えてうれしいです。(高校1年生)

学校に行くのが辛かったけど、先輩が話を聞いてくれて乗り越えることができました。今度は支える側になりたい。(中学3年生)

活動を通して人前に出ることが積極的になったように感じます。また、さまざまな方の話が進路決定に役立ちました。(大学2年生)

審査講評

社会の仕組みを知り、子どもたちだけでまちを運営することを通して自主・自律のこころや協調・協働のこころが育まれています。不登校や発達障害の子どもたちも受け入れるなど間口も広く、地域コミュニティづくりの基盤を育てているところが高く評価されました。



子どもたちが地域の知りたいことを話し合う編集会議。ハイブリッドシステムで自宅からも参加できます。



コロナ禍の2020年度は、他地域でメディア編集をする子どもたちとオンラインで交流する「こどもメディアシンポジウムin横浜」を開催。



「まち」にはハローワークがあり、起業も可能。今後は農業とその収穫物を使った食堂などを計画中です。



経済の学習風景です。商店街などへのフィールドワークやインターシップもまちづくりに反映します。



こころを育む総合フォーラムメンバー

座長 鷺田 清一	大阪大学 名誉教授
今村 久美	認定特定非営利活動法人 カタリバ 代表理事
入江 杏	文筆家、「ミシュカの森」主宰、上智大学グリーンケア研究所非常勤講師
小国 綾子	毎日新聞 ジャーナリスト
工藤 啓	認定特定非営利活動法人 育て上げネット 理事
玄田 有史	東京大学 社会科学研究所長
鈴木 みゆき	國學院大學 人間開発学部子ども支援学科教授
福田 里香	パナソニック株式会社 CSR・企業市民活動担当室室長
増田 明美	スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学 教授
山極 壽一	総合地球環境学研究所 所長、前京都大学総長

<http://www.kokoro-forum.jp/>

公益財団法人 パナソニック教育財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル6階
TEL.03-5521-6100 FAX.03-5521-6200
<http://www.pef.or.jp/>



子どもたちの “こころを育む活動” 表彰式

2022年 2月8日(火) 14:00

表彰式 (全国大賞発表) 及び 座談会 オンライン配信のご案内

第一部 オンライン表彰式

第二部 オンライン座談会

「地域コミュニティが子どもたちのためにできること」

オンライン配信URL <https://youtu.be/6rhCOnYmRTE>

主催:公益財団法人 パナソニック教育財団
後援:文部科学省